

一夜限りの大熱狂！

8月15日の夜は

お祭りの輪に入るのがもつと楽しくなる。
金山小唄の「物語」を覗いてみませんか？

今年も金山まつり期間の8月15日に盆踊り大会が開催されます。そこで流れる「金山小唄」という曲のことを、皆さんはご存じでしょうか。この曲は平成4年に制作され、歌手北ひろし氏の歌唱で発表されたもので、その歌詞には自然の美しさや町の情景・人々の暮らしが描かれ、この町で生きる喜びと未来への希望が詠み込まれています。イベントなどでは、町内踊り団体による流麗な振り付けとともに披露され、親しまれてきました。実は歌詞の一つひとつに地域の歴史や願いが込められ、手の動きや足運びにも五穀豊穡などの深い意味が隠されています。そのルーツを知れば、いつものリズムがより鮮やかに響くはず。意味を噛み締めながら、金山小唄を楽しみましょう！

金山小唄で盆踊り

かなやま こうた 金山小唄

作詞 こが ゆきお
作曲 いずみ ゆう
振付 ふじま とうこう(横山光夫)

一

ハア 神室山から ながめる景色 ヨイショナー
緑ゆたかな 金山町は 愛がめばえる たたずまい
水とロマンの 愛の花 ソレ ヤートナーソレ 愛の花

二

ハア おらが自慢の 金山杉は ヨイショナー
木の香り漂う 日本の魂(こころ) 愛を育てる たたずまい
明日に咲かせる 恋の花 ソレ ヤートナーソレ 恋の花

三

ハア 今日のはせがれに 嫁ごが来る日 ヨイショナー
鶴と亀との 祝いの酒で 若い二人の晴れ姿
明日に咲かせる 夫婦花 ソレ ヤートナーソレ 夫婦花

四

ハア 若い二人に 孫子ひとり ヨイショナー
おらが国さの 若杉さまよ 今日楽しい 夏まつり
明日に咲かせる 親子花 ソレ ヤートナーソレ 親子花

五

ハア 老いも若きも 祭りの夜は ヨイショナー
夏の夜空の 花火の下に そろい浴衣で 輪になって
明日に咲かせる 日本花 ソレ ヤートナーソレ 日本花

意味がわかるともつと楽しい

振りの意味

踊りの輪へ誘う
歓迎のしぐさ

「こちらへいらっしゃい」
「一緒に踊りましょう」と、
踊りの輪へ誘うような柔
らかい動き。

協力：千川楽栄会（代表 碓屋栄美子さん）

高く伸びる金山杉

腕を交互に高く伸ばし、天高くまっすぐ成長する金山杉を表現しています。

大きな花火
小さな花

生きる喜びや未来への希望を、夜空の花火や小さな花が咲く振り付けに重ねて表現しています。

清らかな川の流れ

金山の清らかな川の流れや波の動きを、ゆったりした振り付けで表しています。

本まつり

8月15日(土)
盆踊り大会

午後6時30分～午後7時

(七日町通り・フルーツほしかわ前)

※雨天の場合は中央公民館ホール

どなたでも
参加できます！